

「政宗が育んだ“伊達”な文化」 日本遺産認定



松島（国特別名勝）

平安時代以来、みちのくの歌枕として多くの歌に詠まれています。芭蕉が「おくの細道」の旅の中で紹介したことでその名が全国に広まり、多くの文化人が訪れるようになりました。



瑞巖寺五大堂（国指定重要文化財）

政宗が平安時代に創設させた由緒ある堂を再建した。東北地方最古段階の桃山建築で、雄健な彫刻だが素木造の外観、対照的に奇巧を凝らした家形厨子は伊達な文化を代表する。



仙台城本丸大広間障壁画鳳凰図（県指定文化財）

仙台城御広間の中樞を飾った、桃山期狩野派による濃絵。覇気に満ちた華やかな政宗の武将としての精神を表している。



圓通院霊屋（国重要文化財）

二代忠宗の次男光宗の霊屋。内部の厨子に華麗な彩色模様が施され、政宗好み引き継がれている。



雄島（国特別名勝）

「みせばやな 雄島のあまの 袖だにも 濡れにぞぬれし 色はからず」など多くの歌に詠まれた歌枕の地として有名。



観瀾亭および障壁画（国重要文化財・県指定文化財）

枕歌松島を眺望する地に、藩主が宿泊、休憩する御仮屋の御殿として建てられたもの。ふすまの濃絵の障壁画は桃山時代の特徴を良く表している。



富山観音堂と梵鐘（国特別名勝・県有形文化財）

政宗の長女五郎八姫が改修させた彩色豊かな建造物と寄進した梵鐘。芭蕉に同行した曾良も「曾良旅日記」の中で眺望の地として記している。

平成28年4月25日、

文化庁が選ぶ「日本遺産」

に「伊達政宗が育んだ“伊

達”な文化」（構成市町・仙

台市・多賀城市・塩釜市・

松島町）が認定されました。

日本遺産とは、地域の歴

史的魅力や特色を通じて我

国の文化・伝統を語るスト

ーリーを認定するもので、

ストーリーを語る上で欠か

せない魅力あふれる有形や

無形の様々な文化財群を、

地域が主体となって総合的

に整備・活用し、国内だけ

ではなく海外へも戦略的に

発信していくことにより、

地域の活性化を図ることを

目的としています。

構成される文化財は、「伊達政宗と仙台藩の文化」「政宗による文化の確立」「政宗以後の文化の広まり」とい



木造伊達政宗倚像（県指定文化財）

政宗没後16年の承応元年（1652年）に制作され、現存する政宗像の中で最も写実的な作品といわれる。弦月形の金の前立を好んだ、独創性を持つ政宗の姿を表している。



陽徳院霊屋（国重要文化財）

二代忠宗の建立による政宗夫人愛姫の霊屋。規模は小さいが黒漆塗、極彩色、飾金具により、政宗の瑞鳳殿に類する豪華さと優美さを誇る。

今後は、宮城県・仙台市・多賀城市・塩釜市と共同して「日本遺産」PR活動に取り組んでいきます。



瑞巖寺本堂・庫裡および廊下・障壁画（国宝）

政宗による造営。本堂外観は質素な和様であるが、内部の彫刻・彩色・金具・金地濃彩によって描かれる大小161面の襖絵障壁画は、仙台藩お抱え絵師によって描かれる。庫裡の豪華な妻飾りや廊下の構成美も、豪華絢爛たる伊達な文化の世界を表現している。